



ぜひご家庭でもお読みください

首都圏・大阪・福岡で! ボランティア×ネット予約

● 期間限定で、選べる
「ボランティアウェブ、OPEN」



読者プレゼント 詳しくは裏表紙へ
「GIVE&GIFT」クッキー

● 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート

● ソーシャル・ピープル・インタビュー
NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」代表理事
有森 裕子さん

● グループ従業員の
ボランティア活動レポート

こちら事務局

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第8回助成先

皆さまの募金に会社が同額を上乗せして、市民団体を助成するゆめ・まち基金。2016年度は66団体から申請があり、書類選考・基金参加者アンケートの結果をふまえ、本選考会で16団体への助成を決定しました。

- | | | | | |
|---------|--------|------------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 地域環境づくり | 1 | いたみアピールプラン推進協議会 | 伊丹の自然・文化・歴史のアピール | |
| | 2 | NPO法人 元気ファーマいながわ | 耕作放棄地利用による農園運営・地域緑化 | |
| | 3 | 宝塚市自然保護協会 | 宝塚全域における生物多様性の調査・保全 | |
| | 4 | NPO法人 日本森林ボランティア協会(※) | 間伐や植林など市民参加の森林整備・担い手育成 | |
| | 5 | NPO法人 阪神文化財建造物研究会 | 阪神地区の文化財建造物の保存・活用 | |
| | 6 | 認定NPO法人 東灘地域助け合いネットワーク | 三世交流による地域発展と居場所づくり | |
| | 7 | NPO法人 プラス・アーツ | アートの力を活かした防災プログラムの企画・運営 | |
| | 次世代の育成 | 8 | 尼崎子ども劇場 | 観劇など文化を体感できる機会の提供 |
| | | 9 | 池田市公益活動促進協議会 | 五月山における里山の自然体験プログラムの開催 |
| | | 10 | 京都技術士会理科支援チーム | 科学技術の専門家である技術士による理科実験教室 |
| | | 11 | 京都市里親会(※) | 里親の資質向上と新規里親開拓 |
| | | 12 | NPO法人 はんもつく | こどもの豊かな体験づくりと子育てグループへの中間支援 |
| | | 13 | NPO法人 寺子屋プロジェクト | お寺を拠点とする教育活動 |
| | | 14 | NPO法人 トイボックス(※) | 全国初・公設民営のフリースクール |
| | | 15 | NPO法人 豊中市青少年野外活動協会 | キャンプ・スキーなどの自然体験プログラムの開催 |
| | | 16 | NPO法人 プレインヒューマニティー(※) | 青少年の学習支援や多様なニーズに応えるこどもの居場所づくり |
- ※基金参加者アンケートの結果が上位であった団体。

ポイントがつながく社会貢献の輪:「社会貢献ポイント制度」

グループ従業員やOBの皆さまの、地域・社会への貢献活動を応援する「社会貢献ポイント制度」。2016年もたくさんのご申請をいただきありがとうございました!

参加会社 72社(前年比 +4社)

会員数 2,072人(前年比 +177人)

ポイント進呈数 13,809ポイント(前年比 △589ポイント)

ポイント交換数 4,580ポイント(前年比 △237ポイント)

※内訳:市民団体への寄付1,344ポイント、六甲山に植樹する苗木571ポイント、フェアトレード商品への交換2,665ポイント

六甲山への 13本

植樹本数 ※六甲砂防事務所への寄贈(治山計画に基づく植樹計画への提供)

<ポイント交換のお知らせ>ポイント制度会員の皆さまに、5月上旬頃にポイント残高通知書をお届けします。皆さまが貯めたポイントは1ポイント10円相当で、フェアトレード商品や、市民団体への寄付などに交換可能。ご希望の方は、通知書をご覧のうえ、5月31日(水)までに申請ください。

皆さまからのお気持ちを切手に換え、寄付先に届けました!

《ご報告》書き損じハガキ回収結果

過去最高の68社217拠点で回収にご協力いただきました。

ハガキの回収にご協力いただいた従業員の皆さま、「10分でわかる補助犬のお仕事」にご参加いただいた皆さま、回収箱の設置や従業員への周知にご協力いただいた各社担当者の皆さま、ありがとうございました。(回収期間:2016/12/22~2017/1/31)

(特非)MAMIE(マミー)への寄付 188,125円相当

(回収枚数:ハガキ3,463枚、未使用切手265枚)

障がいのあるこども達への学習支援などの活動に役立てられます。

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)

shakai@hankyu-hanshin.co.jp

TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

URL: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



ソーシャルグッズ
読者プレゼント



「GIVE&GIFT」
オリジナルクッキー

サクサク、しっとり、カリッ...食感の違いも楽しめる詰め合わせ!



4つの味のオーガニッククッキー

「GIVE&GIFT」は大阪・淀屋橋にある、ランチカフェ併設の障がい者作業所。オフィス街での仕事を通じて、障がいがある人が自分らしい働き方を発見できるよう後押ししています。人気のオーガニッククッキーは保存料無添加で、さび砂糖などの体にやさしい食材を使用。コーヒーや紅茶と相性ばっちりです。今回はオートミールクッキー(くるみ・ココナッツ・アーモンド)とショートブレッド(白ごま)をセットでプレゼントします。

販売/GIVE & GIFT cafe
☎06-6226-8772
住所/大阪市中央区淡路町2丁目5-11小西酒店ビル
URL/<http://give-and-gift.jp>
価格/200円(税込)×4種

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「クッキープレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2017年5月31日(水)

編集後記

特集でご紹介したボランティアウェブを、この機会にぜひお試しください。関西にお住まいの方だけでなく、関東・九州在住の皆さまにもご利用いただけます!(臼杵有紀奈)



20名参加ごとに六甲山へ苗木を1本寄贈!参加者には社会貢献ポイントを進呈。そんな口ハズ度チェックシートは、下記WEBページへアクセスを!ぜひ、ご参加ください。(櫻井満理奈)



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは

「未来にわたり住みたいまち」づくりを目指し、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組み当社グループの社会貢献活動です。

使ってみよう、ボランティアウェブ

平日から土日までさまざまなボランティアプログラムが紹介され、内容や地域など自分に合った活動を探すことができます。定期プログラム以外にも単発の新規プログラムが順次アップデートされますので、サイトはこまめにチェックしましょう。

1 専用IDとパスワードでログインし、当社グループ従業員専用サイトへ

ボランティアウェブURL: <https://secure.philanthropy.or.jp/vw/yumemachi/>
 阪急阪神ホールディングスグループ従業員専用ID「yumemachi」/パスワード「8984」
 利用できる期間は2017年4月1日～6月30日です。

ルート1
地域から探す
 首都圏、大阪、福岡の募集を掲載しています。



ルート3
支援分野から探す
 環境保全、障がい者・高齢者福祉、子育て支援など興味のある分野から選ぶことができます。

ルート2
プログラムを探す
 定期プログラムや単発プログラムを1件ずつ写真つきで紹介。興味があるものがあれば、クリックして詳細へ。

ルート4
カレンダーから探す
 日付欄に募集件数が表示されます。活動できる日が決まっている人はここから探すのがおすすめ。

2 4つのルートからボランティアを検索

募集中のボランティア一覧が出るので、興味のあるものがあればクリックして詳細へと進みます。「地域」「支援分野」「カレンダー」「プログラム」の4つのルートからボランティアを検索します。

3 参加を申し込む

詳細の一番下の「参加を申し込む」をクリックするとメールフォームが立ち上がります。必要事項を記入して送信情報は日本フィランソロピー協会を通して、NPO等受入れ先に連絡がいく仕組みです。

公益社団法人日本フィランソロピー協会

一人ひとりの社会参加・社会貢献を支援し、誰もが生き生きと暮らせる社会づくりを目指して1991年からフィランソロピー推進事業を展開。セミナーや寄付活動のコーディネート、障がい者の自立支援などを行ってきた。2011年に、ある大手企業からの要請で従業員参加型のボランティア予約システムを立ち上げ、それを原型として各社共有の「ボランティアウェブ」を2016年4月にスタートさせた。

左)高橋陽子理事長 右)加勢川佐記子シニアマネージャー



〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル244
 TEL:03-5205-7580
 URL: <http://www.philanthropy.or.jp>

例えば、こんなボランティアがあります

東京
犬の殺処分ゼロのために
 NPO法人ピースウィンズ・ジャパン
 ホームレス支援センターにいる犬の散歩などをお手伝い。



大阪
ホームレス問題の解決に向けて
 NPO法人ビッグイシュー基金
 ホームレス支援で有名な雑誌「THE BIG ISSUE」の発送をサポート。



東京
安心して暮らせるまちを世界中に
 NPO法人日本ハビタット協会
 空港に設置した募金箱に寄せられる外貨コインの仕分けなど。



仕分けしたコインがアフリカ・アジア圏のトイレ設置に使用され、5～10年使われると知り、3時間程度の作業が未来につながるんだとうれしく感じました。

難しく考えずに、まずは自分ができることに参加してみる気持ちが大切だとわかりました。

福岡
美しい自然を守りたい
 NPO法人グリーンシティ福岡
 志賀島での森林・竹林の手入れや、土砂の片付け、ゴミ拾いなど。



首都圏・大阪・福岡で!

ボランティア×ネット予約

期間限定で、選べる 「ボランティアウェブ」OPEN

2017年4月1日～6月30日

こちらが元気をもらえました。また参加したい!

スケジュールに合わせて探せるのが便利ですね。

やってみたい分野が選べるから嬉しい。

未来を良くする作業だと実感できて嬉しくなります。

ボランティアに興味はあっても、自分で調べるのはハードルが高い…。なかなか時間がとれない!という人におすすめなのが、「今春当社グループが期間限定で導入する「ボランティアウェブ」」。多彩な活動プログラムで、個人が参加しやすいさまざまな工夫がされている。

企業の社員とNPOをつなぐボランティア予約システム

「ボランティアウェブ」はさまざまな活動プログラムのなかから、契約企業の従業員が自分に合ったものを選べるボランティア予約システム。公益社団法人日本フィランソロピー協会が、企業とNPO等の間をコーディネートし、運営にあたっている。高橋理事長はそのコメントを「気持ちもあっても一歩を踏み出せない人にきつかけづくりをするのが私たちの役割。ボランティアは一日あるいは数時間でもまず体験することが大事なので、その機会をできるだけ多く提供したい」と語る。

体験できるボランティアは全て、協会が自信をもってセレクトした団体のもの。例えば、障がい者や高齢者施設の手伝い、こどもの見守り、国際協力NGOのサポート、農業支援など幅広く、活動時間も平日の昼や夜、土日に家族で参加できるものなどさまざま。首都圏・大阪・福岡の最新の募集活動が随時アップされ、個人の興味や都合に合わせて選べるようになっていく。

気軽に申し込め、安心して参加できるのが大きな魅力だが、一方でボランティアを受け入れる側からも好評という。加勢川シニアマネージャーによると「企業の方はパソコンソフトを使

いこなしたり、業務改善のアイデアや有益な情報をいただけたら嬉しいので単発の参加でもありがたいという声が多く上がってきています。ボランティア作業のマニュアル整備をお手伝いいただいた時は、短時間で分かりやすいマニュアルが仕上がったことに、職員の方がびっくりしていました」。双方にメリットが大きいシステムと言えそうです。

企業相乗り型で異業種交流や自分発見も

「ボランティアウェブ」の特徴の一つが、参加企業がシステムを共有する。相乗り型であること。そのためこのシステムを導入する他社の従業員と現地で協力し合って活動するケースも出てくる。異業種交流が人脈を広げ、思わぬビジネスシーンにつながることもあるそうです。

高橋理事長はさらに意外な効果を挙げる。「企業の方にとってはボランティア自体が異業種、異文化なので、別の価値観を知ったり、自分の新たな価値を見出すこともあるでしょう。職場と家庭以外で自分を活かせる場所があれば心の開放にもつながります。中にはこの活動を通して出会い、意気投合して結ばれたカップルもいるんですよ」とのこと。ボランティアの気持ちがある方は、まずは一歩、踏み出してみてはいかがでしょうか。

series 71 **学んで、親しんで、育て。武庫川は発見の宝庫!**



教室は川。



こども達が武庫川の魅力にふれる体験学習「こども川博士講座」では、カヌー体験の機会も。

武庫川がっこう

TEL: 0798-53-3906
E-mail: mukogawa.gakkoo@gmail.com
URL: http://mukogawa-gakkoo.jimdo.com/
事務所: 宝塚市

宝塚、尼崎、西宮などの市街地広域を流れる武庫川。その武庫川が、幅広い世代に愛される場所となるよう、様々な活動に取り組むのが「武庫川がっこう」だ。
活動のキーワードは、武庫川を「守る」「育てる」「活かす」「学ぶ」。豊かな武庫川の保全のため、カワラサイコ、カワラナデシコなどの希少な植物の保護活動などに着手する一方、魅力発信にも積極的だ。まち歩きツアーや勉強会など、武庫川周辺の自然環境やまちの歴史について知る機会を設け、地元の人々

が価値を再確認するきっかけを作っている。
また、アドプト制度※を活用し、公共空間である河川敷をボランティアで手入れして交流広場を整備。各種イベントや近隣小学校の環境学習の開催場所とすることで、河川敷を有効活用している。武庫川の自然環境を保つとともに、楽しみにも学びにも活かすことで、様々な市民に親しまれる場となっているのだ。
※市民が公共の場の維持・美化等の活動を行うのを行政が支援する制度。

series 72 **自分で育てた友達＝クワガタのいる里山を守ろう!**

野生のクワガタを最近見かけない…とよく言われるが、実は箕面市周辺の北摂地域には野生のクワガタが生息する里山が残っている。そんな自然を活かして、こども達の自然体験を支援し、自然に対する愛着を育てているのが「NPOクワガタ探検隊」だ。
カブトムシやホタルなどを探す自然探検イベントのほか、同団体が取り組むのがクワガタなどの里親活動。こどもが家庭で取り組む昆虫飼育を支援すると共に、産卵され孵化した幼虫を秋頃に団体が引き取り、次の夏に山へ帰すという活動だ。
こども達はクワガタを自分で飼うことで、幼虫からサナギ、成虫という成長を目の当たりにし、命を学ぶ。そして、自分たちが育てたクワガタが、里山のどこかにいる…そんな生き物を育てた原体験は、大人になってもずっと残り、自然を愛し守る気持ちにつながるはずだ。

クワガタのほかカブトムシの里親活動も。また、里山に興味を持つきっかけとして、昆虫を主人公とした紙芝居の上演も行っている。

特定非営利活動法人 NPOクワガタ探検隊

TEL・FAX: 072-753-8327
事務所: 池田市



series 70 **してしまった罪悪感、された苦しみ…。虐待のSOSを受けとめるホットライン。**

まだ「虐待」という言葉が耳慣れなかった1990年から、こどもの虐待を防ぐために活動を続ける団体がある。その名は「児童虐待防止協会」。全国で初めて児童虐待専門の電話相談活動を始め、25年以上経った今も、虐待に悩む親と子双方からのSOSに耳を傾けている。「設立当初は虐待に関する世間の認識がまだ低く、情報も限られていました。親子にとって、虐待された、してしまった、しそうなった…と吐き出せる場が今よりずっと少なかったんです。」と語るのは理事の川本典子さん。
電話相談は匿名かつ秘密厳守で受け付け、児童福祉の知見を持つ相談員が話を聴く。時には相談者の同意のもとに児童相談所や市区町村などの相談機関を紹介することもある。相談員が常に心がけていることは、決して親をとがめず、まずは話を聴くこと。「電話ですから、パニックで上手く話せなくても、声色や背後のこどもの声から様子を感じとれるんです。落ち着いて話せるまで待って、状況を丁寧に聴き、その後親自身の個人史などもふり返りながら、なぜ虐待に至ったのか一緒に考えます。こどもの安全を守ることと同様に、虐待をしてしまった親の罪悪感に寄り添い、理解することも虐待の連鎖を止めるには必要なんです」
最近ではオレンジリボン運動に参加する大学と連携して広報イベントを行うなど、外部への啓発活動にも積極的だ。「時代

は変わっても、人知れずに不安を抱える人がいるのは同じ。悩みを1人で抱えず、相談できる場所があると知ってほしいです」

「子どもの虐待ホットライン(06-6762-0088)」では、平日11時～17時の間、複数の相談員が対応。多い時には1日10件以上の相談も。



特定非営利活動法人 児童虐待防止協会

児童虐待防止協会では、こども虐待防止のオレンジリボン運動を支援しています。500円の寄付をいただいた方にパンフレットとバッジをお渡ししていますので、ホームページよりお申込みください。

TEL: 06-6762-4858(事務局)
URL: http://www.apca.jp/
事務所: 大阪市

グループ従業員の ボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが3万円を支援する「ゆめ・まち「ええこと」応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

2017年度
vol.1



長尾台ミニバスケットボールクラブ/宝塚市 阪急交通社 坂井 信教さん
一人ひとりの成長を、全員で喜べるチームです。

娘がチームに入ったことをきっかけに4年間、毎週のコーチングにあたっています。小学1年生から入部でき、初心者ばかりなのですが、練習を重ねるうちに上達していく様子は見ていて嬉しいものです。試合でシュートが決まった時には全員で大盛り上がり!上級生が普段から下級生の面倒を見ていることもあり、個人の成長を皆で喜べる環境なんです。支援金では子ども達が欲しがっていたピブス(ゼッケン)を購入しました。次世代のためにも、この「ええこと」応援団の取り組みはぜひ続けてほしいですね。



小学1~6年生を対象としたミニバスケットボールチーム。宝塚市立長尾台小学校を拠点に活動しています。

NPO法人Juvenile Education Society/神戸市

阪急電鉄
田中成明さん
子ども会などの活動をサポートしています。今年で50周年!



心ふれあいSA吹田 福祉部会/吹田市

阪急電鉄OB
金馬弘昌さん
小中学校で福祉授業として高齢者体験を行っています。



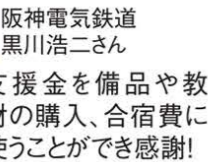
大山崎ふるさとガイドの会/大山崎町

阪急タクシー
加藤良一さん
観光客の案内はもちろん、大山崎の歴史や文化を発信中です。



上ヶ原南ミニバスケットボール部/西宮市

阪神電気鉄道
黒川浩二さん
支援金を備品や教材の購入、合宿費に使うことができ感謝!



日本ボーイスカウト神戸第37団/神戸市

阪急電鉄
和田等さん
念願のダッチオープンを購入!活動の幅が広がりました。



ボーイスカウト八尾第7団/八尾市

阪神電気鉄道
仲田義弘さん
野外活動を通して児童の健全な育成をめざす団体です。



別所ファイターズ/三木市

阪急阪神電気システム
鳴瀬裕信さん
キャッチャーのプロテクターやマスクを購入できました。



関目東ライオンズ/大阪市

阪急バス
瀧川文章さん
支援により活動しやすくなり、地域社会の活性を実感します。



立花ジュニア/尼崎市

阪急阪神ビルマネジメント
鷹尾賢司さん
大会の参加数が増え、活動範囲が広がり嬉しく思います。



「ゆめ・まち「ええこと」応援団」

2017年度応募受付中! 2017年5月31日(水) 締切

グループ従業員・OBの皆さまが携わる地域の「ええこと(=ボランティア)」を支援することで、「未来にわたり住みたいまち」づくりを応援します。

従業員・OBが活動する
ボランティア団体を3万円まで支援!

「地域環境づくり」
「次世代の育成」の活動資金に!

※1団体あたり3万円上限(総額100万円まで、応募多数時は抽選)※事務局による審査を経て、7月中旬までに結果をご連絡します。
※団体ご代表と当社グループ従業員・OB連名で申請書に記入・捺印のうえ、ゆめ・まちプロジェクト事務局まで原本をご送付ください。

申請書のダウンロード・詳細はwebで <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/group.html>

(「ユーザー名」、「パスワード」は8984)

Social People Interview

NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」代表理事 有森 裕子さん



「アンコールワット国際ハーフマラソン」の前日に行われる「アンコールワット・ウォーキング」で、こども達と5kmを歩いた有森さん。

「共育」をモットーに20年 スポーツを通じて希望を育てる

チャリティマラソンや小中学校への体育教育の普及支援を通して、カンボジアの人達の自立をサポートしている有森裕子さん。約20年にわたる活動への思いを伺った。

現地カンボジアで実感 スポーツの力

最初は国際貢献という意識は全くありませんでした。アトランタオリンピックの直後に、参加費が対人地雷被災者の支援などに充てられるチャリティマラソンである「第1回アンコールワット国際ハーフ

マラソン」に招待されたのがきっかけです。そこで、長引く政情不安の中、必死に生きることも達に出会いました。目をそむけたくなくなる一方で、その生きる力に惹かれたのでしようか。その後、第2回のレースにも参加。その時気づいたのが、前回よりも現地の人がマラソンに興味を持ち、楽しんでることにした。スポーツの力をそこに感じて、こういう良い変化を起こせるのであれば、ぜひ継続していきたいと。それで98年、NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」を立ち上げ、このチャリティマラソンをシンボルに活動を始めました。

がんばるための きっかけづくり

活動を始めては20年になりましたが、昨年第21回の参加者は世界85か国から9150人。目標として

いた運営事務局の現地への移譲も4年前にできました。また、小中学校での体育科教育支援や障がい者のスポーツ振興、日本語教育なども行ってきました。

続ける中で、印象的な出会いもありました。両足と指に障がいのある1人の女性。彼女は車椅子でマラソンの会場に現れ、開催をとんでも喜んでくれました。そして自分も何かをがんばってみたいと職業訓練所に通い、学び、できることを一つずつ増やしていったのです。

私は彼女のようにがんばるチャンスは誰もが平等に持てるべきと考えています。私自身、走ることに出会え、がんばることで生きる希望や勇気につながったように、夢や目標は現状を変えるエネルギーになります。誰もがぜひ心の金メダルを輝かせてほしい。「ハート・オブ・ゴールド」で行っているのは、そのきっかけづくりのお手伝いです。そ

継続の秘訣は 「共育」という考え

世の中のいろいろなことが役割分担だと思っています。だから、できる人ができることを、できる範囲でやればいいというのが基本スタンスです。特にボランティアで大切だと感じるのが、まずは自分のために一生懸命に生きること。そうでなければ他人の人生まで考えられないでしょう。世界に一人しかない自分を大切にして、これぞという活かせるものを見つけたら、それを通して活動の場を広げていけばいい。きっとそこには、共育があつて、それが継続につながっていくはずなんです。

世の中のいろいろなことが役割分担だと思っています。だから、できる人ができることを、できる範囲でやればいいというのが基本スタンスです。特にボランティアで大切だと感じるのが、まずは自分のために一生懸命に生きること。そうでなければ他人の人生まで考えられないでしょう。世界に一人しかない自分を大切にして、これぞという活かせるものを見つけたら、それを通して活動の場を広げていけばいい。きっとそこには、共育があつて、それが継続につながっていくはずなんです。

Profile 1966年、岡山県生まれ。1992年バルセロナ五輪女子マラソンで銀メダル、1996年アトランタ五輪女子マラソンで銅メダル獲得。1998年にNPO法人「ハート・オブ・ゴールド」を設立し代表理事就任。被災地や紛争地、開発途上国でこどもの自立支援をサポートしている。国際オリンピック委員会(IOC)スポーツと活動的委員会委員等を務めている。

